

高校論文コンクール
浦部さん最優秀賞受賞
鹿島中央RC

鹿島中央ロータリークラブ（RC、佐藤敏近会長）による高校生論文コンクールの表彰式が23日、鹿嶋市宮中の清真学園高（柴山修二校長）で行われた。最優秀賞を受賞した同高2年、浦部小雪さん（16）と、優秀賞の生徒3人に表彰状が贈られた。

コンクールはRC会員の行動基準「4つのテスト」を踏まえ、どのような大人になりたいかについての考えをつづるもの。3回目となる今回は、同市内の県立・私立高4校の443人から応募があった。

表彰式で佐藤会長（78）は「世の中の状況をよくつかみ、体験と擦り合わせて書いた論文だった」と評価した。「真実がもたらす影響」と題した論文を応募した浦部さんは、フェイクニュースの危うさなどを指摘し「情報は伝わっていく途中でうそが混じることがある。相手から直接話を聞いて判断できるような大人になりたい」と話した。



最優秀賞を受賞した浦部小雪さん。左は鹿島中央RCの佐藤敏近会長。鹿嶋市宮中

出所：2025年6月27日（金）茨城新聞 地域 鹿行版